

2026年6月5日

【件名】

6月5日発行：ジュバ市等における事件・事故情報につきまして

【お知らせ】

FIFA ワールドカップ 2026 開催に伴う外務省特設サイトの開設

2026年6月11日から、FIFA ワールドカップ 2026 がカナダ・メキシコ・アメリカにおいて開催されます。

現地で観戦する邦人の安全対策のため、外務省ホームページ内に特設サイトを開設いたしました。皆様ご自身、皆様の周囲で FIFA ワールドカップ観戦のため渡航される方等、ご関心のある方々に御紹介いただけますと幸いです。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/ss/pagew_000001_02610.html

【本文】

在留邦人の皆様

平素大変お世話になっております。

5月29日から6月4日までの間、当館が把握した、ジュバ市内等の事件・事故情報をご紹介します。

ジュバ市内においては、特に夜間（日没後）、検問所において、治安要員が通行を阻害する行為が頻発しています。

安全のため、夜間の移動は車両であっても控えるようお願いいたします。

【ジュバ市内で発生した事案】

(1) 発砲案件

5月28日、6月1日、UN トンピン基地周辺において、1発の発砲音。併せ、5月31日には同基地周辺で4発の発砲音。

(2) ハラスメント行為

5月30日午後7時55分頃、UN ハウスから UN トンピン基地に向かっていた UN 職員2名が乗車した車両が、SSPDF 検問所において停車を求められました。職員は翌早朝のフライトに備え、空港により近いトンピン基地に移動していましたが、兵士は夜間外出禁止令を理由に通行を拒否した上、UN ハウスに戻るよう指示しました。急遽 UN ERT チー

ムが出動しましたが、職員2名は解放され午後8時14分、UNハウスに帰還しています。

(3) ハラスメント行為

1日午後8時頃、UNハウスからマンガディーンIDPキャンプに向かっていたパトロール部隊がSSPDFの検問所で停車を命じられ通行を拒否されました。兵士から、翌朝午前10時以降にパトロールを再開するように指示されたが、理由の説明はなかった。パトロール隊はやむなく、UNハウスに帰還しています。

(4) 強盗事案

1日午後7時頃、ジュバ市クラウンホテル付近において、大使館現地職員(公館名は不明)が車両にて走行中、軍服を着用した2名に停車を命じられました。2名は車内を捜索の上、職員が電話を使用することを禁じ、突然1名が職員に銃を突きつけ引き金を引いたが銃弾は発射されませんでした。その後、2名は職員に現金を要求の上、差し出された現金を奪い逃走した。

(5) 発砲案件

1日午前9時頃、ジュバに所在するUN機関事務所内において、弾丸1発が発見されました。警察の調査によると、弾丸は外部から打ち込まれた物で、職員が無人の時間帯に屋根を貫通し、事務所内に落下したと見られています。

(6) ハラスメント行為

3日午後7時20分頃、UNパトロール部隊がイエイ通り沿いの検問所において、SSPDF兵士に停車を命じられました。SSPDF将校がパトロール部隊に対し、夜間の移動、更には、翌朝午前10時までは移動を許可しない旨を告げたとのこと。パトロール部隊は指示に従い、午後7時35分頃、拠点であるUNハウスに帰還しています。

(7) 野生動物の出没・保護

3日、ジュバ市の住宅街J1地区を徘徊しているハイエナの動画がSNS上で拡散されました。これを受け野生生物保護・観光局当局が調査を行ったところ、Hong Kong地区の個人住宅で飼育されていたハイエナであることが判明しました。

同局のディニング局長は、ハイエナは捕獲され、より自然な環境で暮らせるバンディロギ国立公園(中央エクアトリア州と東エクアトリア州にまたがる国立公園)へ5日にも移送すると述べました。同氏は、野生動物を人口密集地で飼育することは野生生物規制に違反し、住民と動物双方にリスクをもたらすと指摘しています。

併せ、ジュバ国際空港付近でヒョウの親子が目撃されたとの情報もございます。

(8) 4日、ジュバとジョングレイ州ボル間を結ぶ幹線道路上において、SSPDF兵士4名が軍用救急車に野生動物の肉を積載していたとして、野生生物保護・観光局当局に逮捕されています。同局のディニング事務局長は、捜査が完了次第、容疑者らは軍事法廷にかけられる見込みだと述べています。

ジュバ・ボル間の道路沿いにおける野生動物取引が深刻な問題となっていることから当局は監視を強めたことにより、逮捕者や大量の野生動物の肉の押収に繋がっているとのこ

とです。

【その他の州】

●中央エクアトリア州

1日午前11時頃、イエイ (Yei) とモロボ (Morobo) を結ぶ幹線道路上に位置するアレロ (Alero) 地区において、武装集団が NGO 職員2名を拉致しました。被害者はイエイからモロボへ向かう途上、待ち伏せ攻撃を受けた模様です。その後、運転手は解放されたが、職員2名の行方は不明となっています。

●東エクアトリア州

3日午後4時40分頃、トリット郡 Buru (トリット市から北西約25 km) において、国際 NGO 職員が殺害されました。職員は午後4時にトリット市を出発し、ロンギロ (Longiro : トリット市から北西約70 km) で行われる会議に向かう途中、ムルレ族と見られる若者に襲撃され、射殺されたとのことです。犯人は被害者が乗車していたバイクを残し、携帯電話を奪い逃走しています。

以上